

《随想》

私の戦後六十年

⑮

栗城博



平成七年は私個人的としては、もつとも嬉しいことがあった。それは昭和五〇年四〇才の時に事業に失敗してつくった借金を完済したからである。それも二十年の歳月を経てである。

毎月十万円から十五万円を振込みで返済を続けてきた。六カ月に一度は東神奈川駅近くの県信用保証協会の監理課に顔を出していた。近況報告のためだった。テレビのドラマでみる保護観察処分者の扱ってこのようなものかも知れないと思つた。住居を転々としたので住所と電話番号に変わりは無いかと尋ねられたことは何回かあったが、どんな仕事をしているかと聞かれた記憶はない。JRCを設立して社長に納まっていることを聞かれたことがなかったから、薄気味悪くつまらない心配をしたこともあった。

元金が残りわずかになり、あと数回の振込みになった頃「六十才前に終わるよう頑張りましょう」担当が元気づけてくれた。この後に多額の延滞金の請求が来るとは想像していなかったもので、これで終ると思つた。

五月か六月か定かでないが元金を返し終えて間もなく、延滞損害金(金利)の計算書と「話し合いたいから連絡が欲しい」といった内容の手紙が送られて来た。何度も電話で折衝を重ねたが埒があかない。腹立たしい思いで出頭した日は肌が焼けるように陽射しが強かつた。

話し合う相手は電話で折衝してきた人と、その上席らしい人の二人だった。「延滞金を払う意思は全くない」と言つた。

県の保証協会の保証を受け、代位弁済してもらつた元金全部を弁済した人はどの位いるかと聞いたが、「それ程多くない」と答えただけだった。規定通りの保証料を払つたこと。元金を返せば金利は免除して貰えると思つてたこと。私的整理完了後も、某金融機関は無用にも長期間にわたつて定期預金を拘束したこと。差押えた担保不動産を速やかに競売に付さなかつたこと。そのような悪質と思える行為によって生じた多額の延滞金を支払うつもりはないと言つてみた。

国民金融公庫は「子供の教育にお金が掛かること」を理由に上申書を提出して延滞金の免除を受けたことまで話をしたが駄目だった。

結局、延滞金の妥協点を見いだして、支払うようになっただけだった。担当は部屋を出て行つては、上司の決済を仰いでくる。金額は送つてきた計算書の四分の一になつたが、私の誕生日前、即ち還暦前の一括払いの条件をだしてきた。ほぼ五百万円の支払いだつたが「分かつた」と返事をしたら、今度は「大丈夫か」と念を押してきたから、大丈夫だと返事をした。

「誰かそれなりの人に頼んだら、延滞金を払わないで済んだんじゃないの？」という人もいたが、二十年かかつたが自分のケツを自分で拭いたのだからそれでよかつた。

つづく

☆JRC住まいる倶楽部会員様特別ご招待☆

「得する発見がある」大好评第13弾！
住宅展示会
見学バスツアー



毎回大好评の「東京ビックサイト住宅展示会見学バスツアー」ビックサイトの大空間に、建築資材や住宅関連機器各メーカーが一同に会し、新製品や売れ筋商品を一挙に展示する国内最大級の住宅展示会です。気になる商品や欲しい商品が目白押し。一般入場はしていない展示会ですので、建築・建替・リフォーム等をお考えの方はこの機会にぜひご参加下さい。

日付：平成23年2月13日(日)
時間：10:00集合 10:15出発 定員 30名様
集合場所：JRC店内(大和東3-9-3)

＜フェアのみどころ＞

- エコ住宅では太陽光・創エネ省エネ住宅の提案。
- 地震体験車で震度7を体験。
- CMでおなじみの新商品も！
- リフォームをお考えの方も必見。
- ちょっと一息B級グルメフェアや体験教室もあります。

展示会の様子



＜参加者の声＞

☆一度に数多くのメーカーを見て回る事が出来て非常に参考になりました。自宅の建替え計画に生かしたいと思います。(大和市 佐藤 浩司 様)
☆カタログではわからない部分を実際に体験してみて、手摺の位置やキッチンの高さなど使い勝手の発見が色々ありました。リフォームを検討していますが、どのメーカーが良いか迷ってしまいました。(座間市 磯川 昌志 様)

◎スケジュール◎

10:00 集合
10:15 出発
11:45 東京ビックサイト到着
(ご自由に見学下さい)
15:45 東京ビックサイト出発
17:00 JRC 到着

道路事情により到着時間が遅れる場合がございます事をご了承下さい

※昼食付、参加費無料。完全予約制となりますので、必ずご予約の上ご参加下さい。

戸建て住宅の外装メンテナンス

戸建住宅にお住いの皆さん、お家のメンテナンスはされていますか？お家の中はお掃除をすることでキレイに保てますが、外装のお手入れは建物の寿命に影響しますので、定期的なメンテナンスが必要です。通常の外壁と屋根材は8年から10年で一度塗り替えをする時期となります。

屋根、外壁、破風板、軒天、雨どい、板金、コーキングの塗り替え工事はいずれも足場工事が必要となりますので、まとめて工事をされることをお勧めします。

外壁は塗り壁やサイディング貼りの建物が多いと思いますが、目地と表面が同じ色のサイディング壁と塗り壁であれば、外壁用のウレタンやシリコン系の塗装材で十分です。しかしタイル調および石積調のようなサイディングの外壁の場合、普通のペンキで塗り替えると表面と目地の色が同じになるので違和感を感じるかもしれません。そこで日本ペイントのUVプロテクトクリアという塗装材をお勧めします。艶のあるクリア塗料ですので、元の色のまま塗ればピカピカになります。ただし、元の色が落ちていないうちに施工しないと効果がないので、なるべく早めの工事をお勧めします。

また外装リフォーム工事の中で耐久年数が一番短いのはコーキング材です。最近のシリコン系のコーキング材は5年～7年の耐久年数が多く、外装のリフォームをするサイクルよりも2年前後短いのです。そのためだけに足場を掛けて打ち替えをするのはもったいないと思います。弊社では5年程前から使っているネオウレタン系のコーキング材は変成シリコンのコーキング材よりも耐久性と耐候性が良い材料ですので、皆様には是非お勧めしたいと思います。

屋根は一番日に当たる部分ですので、塗料も専用の製品があります。専用製品で施工すれば安心です。【木造建築士 陳 萌】



大和市福田のH様邸

当社で建築して7年程経ち、レンガ調の外壁なので、クリア塗料を2回塗りて仕上げました。建築当初より艶があって、ピカピカです。

お施主様は元々の外壁色を気に入って頂いておりましたので、同じ色の塗料で塗り替えました。新築のような仕上がりにお施主様には大変喜んで頂きました。(築7年)

大和市中央のK様邸

